

平成26年度 笠松力検定 中級 問題用紙 制限時間60分

注意事項

- (ア) 検定問題は全50問で、1問から25問が4者択一方式、26問から50問が記述式です。解答用紙の記入にあたっては、1問から25問は番号を、26問から50問は問題で指示した語句を記入してください。
- (イ) 誤って記入した場合は、消しゴムで跡が残らないように消してください。
- (ウ) 受検中は、監督者の指示が出るまで検定会場を退出しないでください。
- (エ) 受検中は、携帯電話等を使用することはできません。
- (オ) 受検中は、問題の内容についての質問は一切受け付けません。

笠松力検定委員会

問題 1 から 25 までを読み、正しいと思われるものを一つ選び、
解答用紙に番号を記入してください。

1. 笠松町に住む外国人の中で、最も多い出身国はどこですか。
 - ① 韓国
 - ② 中国
 - ③ フィリピン
 - ④ ブラジル

2. 笠松町の平成 26 年 1 月 1 日現在の世帯数は、約何世帯ですか。
 - ① 7, 400 世帯
 - ② 8, 400 世帯
 - ③ 9, 400 世帯
 - ④ 10, 400 世帯

3. 門間の慈眼寺には、1 本のヒノキを真ん中から割って造られた町指定文化財の「円空仏」が 2 体あります。その組み合わせは次のどれですか。
 - ① 不動明王像 と 薬師如来像
 - ② 薬師如来像 と 阿弥陀如来像
 - ③ 阿弥陀如来像 と 毘沙門天像
 - ④ 毘沙門天像 と 不動明王像

4. 岐阜県工業試験場の本館として建設され、笠松町で最初の国の登録有形文化財となった「岐工記念館」は、天皇陛下の岐阜県巡幸の際の宿泊所となりました。宿泊されたのは、何天皇ですか。
 - ① 大正天皇
 - ② 明治天皇
 - ③ 昭和天皇
 - ④ 孝明天皇

5. 門間の神明神社には、神の宿る木といわれる町の天然記念物があります。この木は何ですか。
 - ① クロガネモチ
 - ② マツ
 - ③ イチョウ
 - ④ クス

6. 幕府は直轄領の支配と治水対策のため、美濃郡代を置きました。笠町を笠松村に改め、笠松陣屋を構えたのは誰ですか。
- ① 野々垣源兵衛
 - ② 大久保長安
 - ③ 岡田将監善政
 - ④ 名取半左衛門長知
7. 笠松町には、美濃新四国八十八霊場の 31 番札所の禅宗の寺があります。そこには、町指定文化財の「木造十一面観音立像」をはじめ多くの仏像があり、赤門寺とも呼ばれています。この寺はどれですか。
- ① 蓮國寺
 - ② 光得寺
 - ③ 瑞應寺
 - ④ 専養寺
8. 今も大切に供養されている土岐塚は、天文 13 年(1544)、織田信長の父信秀が美濃に攻め込んだ際、斎藤道三の策略によって殺害された土岐頼香の墓です。この戦いを何といいますか。
- ① 円城寺の戦い
 - ② 中野の戦い
 - ③ 無動寺の戦い
 - ④ 江川の戦い
9. 織田信長の家臣であった森蘭丸の祖父・父の時代の森家は、笠松に所領地があったといわれています。それは現在のどこですか。
- ① 田代
 - ② 門間
 - ③ 北及
 - ④ 長池
10. 江戸時代には問屋場を営み、明治時代に郵便局の仕事をしていたのは、次のどこですか。
- ① 岩越家
 - ② 杉山家
 - ③ 高島家
 - ④ 和田家

11. 江戸時代、笠松出身の力士が、自らの素行の悪さを恥じて旅人に「ぶたれ坊」像を棒で打たせ、お茶を振る舞ったことから、中山道に「茶所」の名が今も残っています。その父親も笠松出身で、雷電に勝った力士として有名ですが、この親子二代に共通の「しこ名」は何といいますか。
- ① 笠竜
 - ② 鏡岩
 - ③ 笠岩
 - ④ 鏡竜
12. 笠松春まつりでは「奴行列」が町内を練り歩き、二つの神社に奉芸されます。その神社の組み合わせで正しいのは次のどれですか。
- ① 産霊神社と白鬚神社
 - ② 神明神社と八幡神社
 - ③ 八幡神社と産霊神社
 - ④ 秋葉神社と神明神社
13. 現在の「名古屋鉄道株式会社（名鉄）」の木曾川鉄橋が完成し、新一宮駅（現在の名鉄一宮駅）と新笠松駅（現在の笠松駅）を結ぶ鉄道が開通し、岐阜と名古屋を鉄道で行き来できるようになったのは、昭和何年ですか。
- ① 10年
 - ② 20年
 - ③ 30年
 - ④ 40年
14. 平成25年(2013)、笠松町は内閣総理大臣から総合特別区域法の「国際戦略総合特別区域(特区)」に指定されました。その特区の名称はどれですか。
- ① アジアヘッドクォーター特区
 - ② グリーンアジア国際戦略総合特区
 - ③ 次世代エネルギー・モビリティ創造特区
 - ④ アジアNo.1航空宇宙産業クラスター形成特区
15. 笠松の名産品として知られた「美濃縞」の製造業者の組織は、明治14年(1881)に設立され、現在の名称は「美濃織物工業協同組合」です。設立された当時の名称はどれですか。
- ① 岐阜県美濃縞組合
 - ② 岐阜県美濃綿織物工業組合
 - ③ 美濃縞会社
 - ④ 美濃織物同業組合

16. 笠松町では平成17年(2005)から、防災・防犯などの緊急を要する情報を、携帯電話やパソコンにメール配信する緊急情報伝達システムを活用しています。このメール配信の通称は、どれですか。
- ① あんしんかさまつメール
 - ② ぼうさいぼうはんメール
 - ③ さいがいかさまつメール
 - ④ かさまつあんぜんメール
17. 濃尾地震が発生した時は、朝食を準備する時間帯でした。その結果、いたるところで火災が発生し、家屋の倒壊と火災により大災害となりました。当時の笠松町は、戸数1,005戸のうち、どれほどの被害が出たでしょうか。
- ① 全壊家屋 160 戸 焼失家屋 600 戸
 - ② 全壊家屋 341 戸 焼失家屋 178 戸
 - ③ 全壊家屋 406 戸 焼失家屋 501 戸
 - ④ 全壊家屋 593 戸 焼失家屋 387 戸
18. 笠松町の主な収入は町税、地方交付税、国・県支出金などとなっています。平成25年度一般会計決算の歳入で、町税の割合は約何パーセントですか。
- ① 35パーセント
 - ② 45パーセント
 - ③ 55パーセント
 - ④ 65パーセント
19. 平成25年(2013)から笠松町で交付されている原動機付き自転車などの「ナンバープレート」のデザインで、正しい組み合わせは次のどれですか。
- ① 川と松とかさまるくん
 - ② 松と馬とかさまるちゃん
 - ③ 馬と桜とかさまるくん
 - ④ 桜とかさまるくんとかさまるちゃん
20. 全国から「かさまつ応援寄附金(ふるさと納税)」に多くの寄附が集まっています。ご寄附いただいた方にお贈りするお礼の品の総称はどれですか。
- ① かさまつありがとう便
 - ② かさまつ応援宅配便
 - ③ 笠松いいもの宅配便
 - ④ ふるさとかさまつ宅配便

21. 昭和 22 年(1947)、学校教育法の施行に伴い「笠松中学校」が創立されました。翌年に校舎建設が始まり、すべてが完成したのは昭和 27 年(1952)でした。校舎が完成するまでの仮の校舎はどこでしたか。
- ① 笠松小学校
 - ② 松枝小学校
 - ③ 下羽栗小学校
 - ④ 岐阜工業高等学校
22. 平成 26 年 10 月から、笠松競馬場で発売されているものはどれですか。
- ① J R A (日本中央競馬会)の勝馬投票券
 - ② オータムジャンボ宝くじ
 - ③ スポーツ振興くじ「t o t o」
 - ④ 全国にある地方競馬の勝馬投票券
23. 芦毛の怪物と呼ばれ、全国の多くの競馬ファンから愛された「オグリキャップ」は、昭和 62 年(1987)に笠松競馬場でデビューしました。笠松競馬での成績は次のどれですか。
- ① 1 0 戦 1 0 勝
 - ② 1 2 戦 1 0 勝
 - ③ 1 9 戦 1 7 勝
 - ④ 3 2 戦 2 2 勝
24. 平成 26 年度に笠松競馬場で開催された重賞競走の中で、実際の馬名がついている競走が 3 つあります。その中で、平成 26 年度に初めて行われた競走はどれですか。
- ① オグリキャップ記念
 - ② ライデンリーダー記念
 - ③ ラブミーチャン記念
 - ④ オグリローマン記念
25. 笠松町のマスコットキャラクター「かさまるくん」と「かさまるちゃん」は、どのような関係ですか。
- ① 友達
 - ② 恋人
 - ③ 親子
 - ④ 双子

問題26から50までを読み、各設問の指示に従い解答用紙に正しいと思われる解答を記入してください。

26. 次の文章を読み、に入る数字を2桁で書きなさい。

木曾川右岸に帯状に広がる笠松町の面積約平方キロメートルのうち、約3分の1は木曾川が占めています。

27. 次の文章を読み、に入る語句を漢字で書きなさい。

現在の笠松町と羽島市の境には「川」が流れていました。その川の名前に由来すると言われる地名（町内名）が、今でも松枝地域に残っています。その地名（町内名）はです。

28. 次の文章を読み、に入る数字を書きなさい。

木曾川の水害から生活を守るため、木曾川左岸の尾張国側に「御囲堤」が築かれました。堤防を造る際は「美濃の堤は尾張より尺低かるべし」といわれていたため、木曾川右岸の美濃側は水害が絶えませんでした。

29. 次の文章を読み、に入る語句を漢字で書きなさい。

トンボ池は、木曾川のかつての本流が取り残されてできた池です。このように形成された池はと呼ばれています。

30. 次の文章を読み、に入る語句を漢字で書きなさい。

明治8年(1875)に笠松村、徳田新田、新田の3つの村が合併し、「笠松村」となりました。

31. 次の文章を読み、に入る語句を漢字で書きなさい。

明治30年(1897)に羽栗郡と中島郡をあわせた2町18村の「郡」が設置されました。郡役所は笠松町に置かれました。

32. 次の文章を読み、に入る語句を漢字で書きなさい。

湊は、木曾川流域最大の物資の集散地として栄えた川湊です。その面影をしのぶ史跡に「石畳」があります。この「石畳」は、荷揚げや積み込みする米・調味料・陶製品・石・薪炭・紙などの物資を、大八車で運搬する際に使われました。

33. 次の文章を読み、に入る語句を漢字で書きなさい。

関ヶ原の戦いの1か月前、笠松ではその前哨戦となる戦いがありました。木曾川を渡って押し寄せる東軍と、それを迎え撃つ西軍の戦いで、その戦いは「の戦い」と呼ばれています。

34. 次の文章を読み、に入る語句を漢字で書きなさい。

明治初期、笠松村を含む美濃国の一部が「」と呼ばれていた期間がありました。その期間は約4年間です。

35. 次の文章を読み、に入る語句をひらがなで書きなさい。

江戸時代、歴代の尾張藩主は所領地の岐阜町を訪れる際、木曾川を渡り円城寺の野々垣家に立ち寄り、「の坂」の西側を通って行きました。その通った道を「お成り道」と呼んでいました。

36. 次の下線の漢字の読み仮名を書きなさい。

鎌倉時代には、京都と鎌倉を往来する人が多くなり、その道を鎌倉街道と呼びました。笠松町にもこの街道はありましたが、それは現在の羽島市から笠松町北及の兒神社前を経て愛知県一宮市に出る道でした。



37. 次の文章を読み、に入る語句を漢字で書きなさい。

中野のお堂に祀^{まつ}られている6体の地蔵様は、台座の記録から明治初期の廃仏毀釈で木曾川上流の越原村(現在の岐阜県加茂郡村)から流されたものとわかりました。地元の人々は「川原からござった地蔵様」と呼んでいます。

38. 次の文章を読み、に入る語句をカタカナで書きなさい。

キリスト教は、豊臣秀吉が禁止してから明治時代まで信仰することができませんでした。田代の木曾川の河川敷にはキリスト教の信者が処刑された大白塚があり、笠松小学校の中庭には、こっそりと信者が信仰したマリア像のしるしが彫ってある灯籠があります。

39. 次の文章を読み、に入る語句を漢字で書きなさい。

木曾川橋下流の田代藤掛の川岸には、後藤新兵衛が開設した「の里」がありました。

40. 次の文章を読み、に入る語句を漢字で書きなさい。

江戸時代、木曾川と境川に挟まれた松枝地域では、集落の周りに堤防を造り、水害から人々の生活を守ってきました。この堤防で囲まれた地域を「松枝」と呼びます。

41. 次の下線の漢字の読み仮名を書きなさい。

昭和 32 年(1957)、長池の土地改良工事中に、寺院の半壊状態の塔心礎や多くの瓦などが出土しました。この寺院は「東流廃寺(蓮台寺)」と呼ばれ、塔心礎の形状や大きさから、塔の高さは 30 メートル程あったと推測されます。発見された塔心礎は田代の白鬚神社に移されました。

42. 次の文章を読み、に入る語句をひらがなで書きなさい。

「どこいきやるナ～」と唄われる民謡は、笠松が「発祥の地」といわれています。この民謡は、宴会や結婚式などでも唄われる祝い歌です。

43. 次の文章を読み、に入る語句を漢字で書きなさい。

「ハァ～の笠松チョイト絵になる姿」の歌詞で始まる『新笠松音頭』は、笠松春まつりの本まつりパレードや小学校の運動会でも踊られています。

44. 次の文章を読み、に入る語句を漢字で書きなさい。

岐阜県重要無形民俗文化財に指定されている「円城寺の」は、毎年 8 月 22 日、円城寺の秋葉神社で披露されます。保存会の指導者が、小学生たちに歌や踊りなどを伝え、後世に残す努力を続けています。

45. 次の文章を読み、に入る語句をカタカナで書きなさい。

「かさまつまちづくりイベント実行委員会」が主催し、笠松みなと公園で開催される 2 つの大きなイベントは、8 月 15 日の「川まつり」と、秋に開催されるです。

46. 次の文章を読み、に入る数字を書きなさい。

笠松町が運営している公共施設巡回町民バスは、「米野高瀬」と「下門間」を平日は毎時20分に発車します。平日の最終便は午後時20分発です。

47. 次の文章を読み、に入る語句をカタカナで書きなさい。

笠松町では、快適な住環境づくりのため、平成元年(1989)から下水道整備を進めています。道路に設置される下水道のマンホール蓋には、公募により決定したがデザインされています。

48. 次の文章を読み、に入る語句を漢字で書きなさい。

笠松町では、住民の人口増加による活性化を図るために、町内に住宅を新築したり、新築住宅を購入したりした住民には「笠松町促進助成金」が交付されています。

49. 次の文章を読み、に入る語句を漢字で書きなさい。

平成19年(2007)に、全国的にも珍しい「笠松町のまちづくり条例」を制定し、心を大切に作るまちづくりに取り組んでいます。

50. 次の文章を読み、に入る語句をカタカナで書きなさい。

昭和40年(1965)に制定された笠松町の町章は、の文字と松葉模様で町名を斬新にえがき、円は親和協調を、円内の鋭角は町の躍進と栄光の道を力強く表現したものです。